

科目名	幼稚園教育実習Ⅰ					開講 キャンパス	神園
担当者	櫻井京子・二宮貴之・井上聖子						
開講年次	2	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選択
授業の概要 及びねらい	幼稚園教育実習は、大学で習得した知識・技能を基礎にして、保育現場における実践を通して教師に必要な資質能力を身につけるために行われる。幼稚園の現場で幼児と共に生活しながら、個々の幼児理解を深め援助方法を具体的に経験する。また、専門職としての幼稚園教諭の役割や職務について、体験を通して理解する。						
授業の 到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1) 幼稚園の置かれている状況・役割を述べることができる。 2) 各年齢の発達の姿や1日の生活の流れを述べるができる。 3) 幼稚園において、時期や子どもの状況に応じた指導案を作成し保育が展開できる。 4) 幼児一人一ひとりに応じた援助について述べるができる。 5) 実習日誌を指導に役立つように綿密に書くことができる。 6) 幼稚園教諭の役割や職務内容を述べるができる。 7) 実習先へのお礼状の重要性を理解し、書くことができる。 						
学習方法	幼稚園教育実習10日間						
テキスト及 び参考書等	テキスト：①幼稚園教育要領解説書 文部科学省編 フレーベル館 ②「幼稚園教育実習」保育実習の手引き（本学子ども学部発行） 参考図書：③保育園幼稚園の実習 完全マニュアル 成美堂出版						
評価基準・方法	到達目標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現			
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート			○	○		5	
授業態度							
受講者の発表							
授業への参加度			○	○		5	
その他	○	○	◎	○		90	
合計							100
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
	市内の附属幼稚園において、10日間の実習を行う。実習中は実習指導者の指導に基づいて指導計画を作成して部分実習や責任実習を行う。実習中に学んだ内容等は、考察を加えて実習日誌に詳細に記録し、幼児理解や保育観を深めるとともに、幼稚園教諭としての役割や職務を理解する。実習後にその成果と課題について報告と協議を行い、今後の学習課題を明確に把握する。						
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・体調管理を十分に行い、遅刻・早退・欠席をしないこと。 ・実習日誌、指導案等の提出期限を厳守すること。 ・授業外学習（事前学習・事後学習）を適宜行うこと。 ・学生便覧の実習の履修内規を熟読すること。履修内規に反した場合は実習に参加できない。 						